

# 令和5年度 第1回 学校評議員会

日時：令和5年7月20日（木） 11時00分～11時50分

場所：本校多目的教室

出席者：学校評議員5名 学校職員11名

## 1. 開会

## 2. 学校業議員委嘱

## 3. 学校長挨拶

- ・昨年度は附属中10周年。今年度は高校100周年（10月28日 記念式典）を準備している。
- 平成30年同窓会館新築。今年度は校舎内のエアコン整備、楽器、テニスコートの整備等。
- ・SSH5期最終年。来年度「先導改革型Ⅱ期」採用を目指し、方針を立てて取り組んでいく。
- 先日、高校3年が英語での課題探究発表を実施した。台湾の学生とのオンライン発表会も行った。
- 海外研修旅行を実施する。12月オーストラリア研修。
- ・日頃の行事、文化祭4年ぶりの一般公開。コロナ前と同等の来客を迎えることができた。
- ・クラブ活動、ハンド女子、山岳男子がインターハイ、将棋、新聞、弦楽、ギタマンが全国大会出場。
- ・信州大学4学部との包括的連携。中高大の接続、女子の理系教育を進めたい。

## 4. 学校からの説明

### (1) 附属中学校の主な取り組み

- ・子どもたちによる主体的な活動を中心に据えて、授業、班活動、地域での取り組みに力を入れている。
- ・ちくま未来フェスタ、棚田オーナー制度等に参加。
- ・ふり返り、フォーサイトを活用し、自らの学びを調整する機会を設けている。
- ・オンライン授業・探究学習日、教師が校外から授業を行い、教材を提示するなど工夫している。
- ・夜遅くまでの学習や遠方からの通学、体調管理ができるよう支援したい。

### (2) 高校の主な取り組み

- ・SSHの中心となる探究学習。全校挙げての取り組みで普通科も成果を出している。
- ・SSH5期最終年度、次期の申請に向けた取り組み。（中高大、海外、域外との連携）
- ・進学型単位制を導入して2年目。→単位制のメリット（少人数、進度別講座の開設）

### (3) キャリア教育について

- ・令和4年度の進路実績について（全校生徒ほとんどが大学進学を目指している）
- ・半数以上の生徒が希望した国公立大学に進学できている。
- ・女子が成果を挙げたと分析できる。（国公立合格者増）
- ・学校推薦総合型23名合格。→今後、受験者数が増加する見込みである。
- ・東京大学2名、京都大学1名 合格
- ・一貫生の進路希望は高いものがある。

### (4) 生徒指導について

- ・交通安全、SNS、いじめ対策 3つを活動の柱にしている。
- ・今年度は地域からの苦情等が少ない。落ち着いた学校生活を送っている。
- ・交通安全、4月ヘルメット努力義務→入学式にて説明。1年生の着用率が高く見える。
- ・SNS、人権侵害についてより注視すべきである。
- ・いじめ等、アンケート調査の実施。（年2回）

(5) 生徒相談について

- ・悩みを抱える生徒の相談を受け、教職員での共有や外部と繋ぐ役割をしている。
- ・多くは心身の悩みについての相談。(学業、家庭、友人関係などが原因となる)
- ・毎週、係会にて情報共有をして、多くの職員が携わって生徒支援に当たっている。

(6) 生徒会について

- ・学習、班活動、生徒会 「三兎を追う！」
- ・文化祭4年ぶりの一般公開。生徒主体に計画・準備し、活気ある文化祭を実施することができた。

(7) SSHについて

- ・継続21年目。毎年新たな取り組みが必要。これまでの積み上げに素晴らしいものがある。
- ・信州大学との組織的な連携。
- ・普及活動。長野県内での探究活動を積極的に行っている学校のリーディング校。
- ・海外交流。オーストラリア(シドニー)へ研修旅行。オンラインでの交流も多い。
- ・同窓会100周年行事との連携。

(8) 学校評価について

- ・教育目標(長期、令和5年)について観点を設け、評価していく。

5. 質疑及びご意見

【質疑】

Q 附属中学校での欠席の多い生徒への対応について

A 中学では家庭訪問の実施や、継続的な支援会議の開催を行っている。集団が苦手な生徒へは、少しずつ集団の中に入れるような手立てをとっている。遠方からの通学により、生徒の体調管理が難しいように思える。

A 高校では不登校者数は多くはないと思うが、悩みを抱えている生徒は多い。担任による面談回数や担任以外の職員による相談体制は手厚い。

【ご意見】

- ・授業を拝見して、提示する教材データが緻密であり準備が大変だろうと感じた。生徒は助かると思うが先生方の苦勞を感じた。中学では、特に生徒の思考力を問うような「論述的」な解答を求めるような問いが多いように感じた。
- ・自転車事故について、加害者になる可能性に注意。生徒に念頭に置いてもらいたい。自転車、ヘルメット着用について、被っていてもあご紐をしていない高校生がいる。あご紐の指導を。
- ・高大接続について、信州大学と屋代高校の連携協定を結び、充実した内容を盛り込んでいきたい。連携を活かして総合型選抜をうまく進められるとよい。
- ・高校の授業は、知識伝達が多く感じるが、探究的な学びを進めてもらいたい。特にグループで行う協働的な探究活動を重視してほしい。
- ・タブレット活用が学力にどのような影響が出るか、今後追跡してもらいたい。
- ・様々な取り組みがあり、メディアにも扱われてよい。SSHに関わって、様々な可能性を探って取り組んでいただいているありがたい。
- ・主体的な学びがさらに入ってくることを願っている。テストの点だけでなく「生きる力」を育てほしい。得点だけでなく人間性を育ててもらいたい。

6. 諸連絡

次回予定：11月中旬～下旬(中間自己評価を受けて)

7. 閉会